

つなぐ、つながる女性部活動

J A たまな女性部 大保 直美

J A たまなは熊本県の北西部に位置します。組合員 9 2 1 5 人（内女性 1 8 8 0 人）、準組合員 6 0 2 9 人、女性部はフレッシュミズを含め約 9 5 0 人です。

私の住む天水町は玉名市の南東部に位置し、有明海を望む自然環境に恵まれた豊かな農村地帯です。二の岳、三の岳の視野に広がる丘陵地帯には、一大オレンジベルトを形成するみかん園が広がり、古くから全国でも有数の産地として発展してきました。

水田地帯では、米、イチゴ、トマト、ナス、花卉といった施設園芸作物が生産されています。また地域には伝統地域資源があり、代表的なものは明治の文豪夏目漱石が正月を過ごしたという小天温泉や日本のおじいさんとして全国的に親しまれた笠智衆の故郷があり現在も受け継がれています。

私はこの豊かな土地天水町で主人と祖父母と 4 人でダリアの切り花やバラ苗の生産をしています。ダリアに関しては、通年で出荷ができるように農場を阿蘇に移し、夏の間は南小国で出荷します。

1 年を通じて出荷できるので市場や花屋さんからも注文をして頂き、とても喜ばれています。また、自身も新鮮な花を扱える強みもあるので勉強しながら、花束、花のアレンジメント、加工のプリザーブドフラワーなどの販売も行っています。

女性部やフレッシュミズの方々には、ハーバリウム講習会や寄せ植え講習会に講師として呼んでもらった事で、この仲間に巡り合うことができました。

結婚した直後は生活のため、その後は子どものため、今は自分のため、農業は私にとって、とても大好きで大切なものになっています。

ここでご縁あって女性部に仲間入りできた、天水女性部の活動を紹介します。

今はコロナ禍で制限された中での活動となり、コロナ感染予防対策を徹底し、密にならないように少人数で班を作り、できることから活動を始めていきました。

グラウンドゴルフから始まり、ゴキブリ団子、廃油石けん作り、規格外の梨やトマトを使った焼肉のたれやトマトケチャップ作りをしました。トマトケチャップ作りは毎年人気のある活動で参加者も多いため、密をさけ 2 班に分かれて作りしました。トマト生産者の方が出荷することができない規格外のトマト 2 0 0 キロに玉ねぎやにんにくを加え、機械で煮込み、塩・砂糖・香辛料に最後はエコープの五倍酢を入れて作ります。とても美味しいケチャップができて参加者も大満足で帰られました。

私が講師で活動した寄せ植え・ハーバリウム講習会にはコロナ禍になり正月料理講習会ができないので代替としてしましたが、皆さまにとっても喜んでもらうことができ、とても嬉しかったです。また、今まで続いていた趣味の会は休みになり、どの活動も少人数になっています。

カラオケ、健康ダンスは日頃の農作業の息抜きやストレス発散で心も身体もリフレッシュ

ユすることができます。

地域貢献活動として、天水町には2ヶ所の老人介護施設があります。コロナ禍になる前は年に1回慰問に行っていました。それがカラオケ部、健康ダンス部の皆さんの発表の場にもなっていました。しかし、これもまたコロナ感染予防で中止を余儀なくされました。何かできないかと班長会議で話し合いを重ね、施設の方で使って頂けるように環境にもよく頑固な汚れも落ちる、廃油で作るみかん石けんを贈ることにしました。玄関で手渡しをするだけで入所者の方からとても喜んでいただき、改めて良かったなーと実感しました。それぞれの施設の春祭りや夏祭り、正月前の餅つきやそうじの手伝いの要請があれば協力してきましたが、これもコロナにより中止です。本当に残念なことです。仕方ありません。

このような中、女性部活動が制限されるのは当たり前になってきました。班長会議で皆で話し合い、月に1回女性部の拠り所として支所を借りて活動をしたいと話が出ました。支所長に相談してみると快く「大丈夫ですよ」とお返事をいただきました。活動内容としては、皆がやりたいと思うもの色々と自由にできればいいなーと、まずは皆で寄り合って話をすることからと思います。情報の共有になったり、教え合ったりと1人1人が企画委員になれる楽しみにもなります。体操、料理教室、家の光の内容実演など楽しいひと時を過ごす場所となるでしょう。

次に天水町農産物直売所、郷〇市の話をしたいと思います。女性部が楽しみにしていた郷〇市が平成16年4月にオープンし、女性の地位向上、地域活性化が大きな目的であり、女性の横の繋がりを強化しようということから、各組織団体、グループが主となり、いずれかに所属していることが直売所会員に加入の条件でした。JA女性部が会員の7割以上となっているそうです。売上金は自分名義のJAの預金通帳に振り込まれますが、それが自分名義ということで大変うれしく、それからの仕事の励みになりました。

柑橘類は産地でもあることから年間通して何らかの柑橘類が店頭に並びます。トマト、イチゴ、ナス、メロン、花卉など家庭菜園の延長で多種多様な野菜もあります。特にみかんの需要は高く、県内はもちろん福岡県などの県外の固定のお客様も多くおられます。

また、平成22年4月に食事処、みかんの花が横に増設されました。直売所の売れ残った野菜や直売所にも出せない規格外となったものなど「もったいない」を考えて、スタッフ平均年齢75歳と元気いっぱいの女性部のお母さんたちが無駄なく上手に使い、地域の味やおふくろの味として昼食のみ営業されています。この場所は元気な高齢者の活躍の場となり、お客様の「美味しい」の生の声を聞くこと、いろんな話をすることでパワーをもらい生きがいになっているそうです。

これから天水女性部は、直売所事業活動を拠点に持続可能な食と地域づくり、また人と人との新しい出会いとつながりを大切にできればと思います。そんな中で皆が楽しく寄り合って、その時を十分に楽しめる。1人1人の心の栄養補給となることが1番の目的ではないのかなと思います。これからもまだまだ進化していく天水女性部です。